

1. 包括的支援事業

(1) 総合相談支援

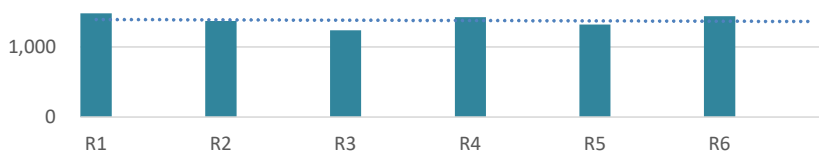
高齢者の心身の状況や生活実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における保健・医療・福祉サービス等の利用につなげる支援を実施する

① 相談対応延べ件数

(件)

総合相談支援 延べ件数	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値(R8)
	1,478	1,368	1,237	1,423	1,318	1,437	1,700

(グラフ) 年度別相談対応延べ件数(件)



○総合相談窓口として、高齢者支援センターを「介護なんでも相談室」にわかりやすい名称をつけ、PRチラシを作成し、様々な場面で周知を行った。

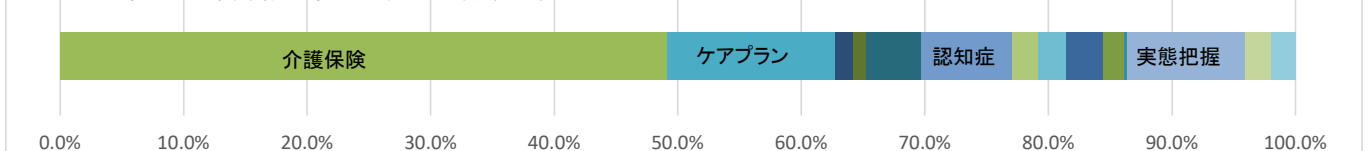
② 相談内容別内訳(延べ件数)

(件)

	介護 相談	在宅 福祉 サービス	介護 認定 申請	ケア プラン	介護 保険 サービス	民間 サービス	介護 保険 関係	認知 症	介護 予防	権利 擁護	障害	実態 把握	経済的 相談	虐待	その他	計
令和5年度	14	21	90	279	441	10	12	104	31	18	12	146	15	76	49	1,318

※R6年度 より集計 項目変更	介護 保険	ケア プラン	在宅 福祉 サービス	民間 サービス	介護 予防	認知症	高齢者 虐待	権利 擁護	生活・経 済的相談	障害	ひきこ もり	実態 把握	困難事 例	その他	計
令和6年度	706	196	21	15	64	105	31	32	43	25	3	138	29	29	1,437

(グラフ) 令和6年度相談内容別内訳延べ件数(割合)



③ 実態把握「お達者ですか訪問事業」

目的：孤立化の可能性がある高齢者を早期に把握し、必要な支援につなぐとともに、地域の課題やニーズを把握する。

対象者：75歳以上で健診、医療、介護保険サービスをいずれも利用していない人のうち、一人暮らし、高齢者のみ世帯、高齢者と子(1人)のみの世帯

年度	訪問数 合計	内訳		
		支援不要 (地域対応可能)	要支援 (地域対応可能だが要注意)	公的サービス必要
令和4年度	38人	28人(73.7%)	7人(18.4%)	3人(7.9%)
令和5年度	29人	20人(69.0%)	9人(31.0%)	0人(0%)
令和6年度	25人	13人(52.0%)	9人(36.0%)	3人(12.0%)

○支援の必要な方については、介護予防事業(通所型サービスやサロン等)へつないだり、必要に応じて民生委員と情報共有し見守り支援につなげた。

(2)権利擁護

成年後見制度の活用促進、高齢者虐待への対応など

相談内容別内訳

(件)

		成年後見	高齢者虐待	消費者被害	合計
令和4年度	相談受付件数	6	18	2	26
	対応状況	町長申立 1 相談のみ 5	虐待対応 9 実態把握 9	対応 1 相談のみ 1	
令和5年度	相談受付件数	11	14	0	25
	対応状況	町長申立 0 相談のみ 11	虐待対応 14 実態把握 0	対応 - 相談のみ -	
令和6年度	相談受付件数	9	5	1	15
	対応状況	町長申立 2 相談のみ 7	虐待対応 5 実態把握 0	対応 1 相談のみ -	
目標値(R8)	相談受付件数	10	15	—	25

(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域ケア会議等を通じた自立支援型ケアマネジメントの支援、個別課題、地域課題の検討と支援

ケアマネジャーへの日常的な個別指導・相談、支援困難事例等への指導・助言

事業内容			令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値(R8)
地域ケア会議 (個別課題・地域課題の検討)	目標設定会議	自立支援に基づき、利用者の「自己実現」「心身機能及び生活機能の維持・向上」「活動・参加」に焦点を当てた支援方針を多職種で検討する。	開催:11回 件数:24件	開催:9回 件数:18件 ※地震の影響によりR6.1～3月中止	開催:11回 件数:22件	件数:24件
	個別会議	高齢者が地域で生活する上での課題を解決するため、地域の関係者や専門職と連携し、個別の支援策を検討する。	件数:1件	件数:6件	件数:3件	件数:6件
	地域ケア推進会議	目標設定会議、個別会議から抽出された地域課題を共有し、課題を解決するための対策を検討する。	開催:1回	開催:1回	開催:1回	
居宅介護支援事業所連絡会			3回	7回	6回	3回
■内容(R6)						
5月27日 事業所連絡会(オンライン開催)						23名
8月2日(鳥屋地区)、8月8日(鹿西地区)、8月3日(鹿島地区)…民生委員との合同研修会						延べ38名
6月4日、10月11日 相談支援専門員との合同研修会(七尾市と合同)※七尾市連絡会所属除く						延べ28名
介護保険サービス事業所連絡会(居宅・通所・訪問系)			1回	1回	1回	2回
■内容(R6)						
5月23日 事業所連絡会(オンライン開催)			24事業所 31名参加			
長寿福祉課・高齢者支援センター連絡事項、事業所間の意見交換						
介護支援専門員(ケアマネジャー)の個別支援	・居宅(介護予防)サービス計画の作成への助言 ・サービス担当者会議の開催支援及び助言 ・個別指導、相談への対応		延158件	延171件	延211件	延150件

(4)地域ネットワークの構築

地域のあらゆる社会資源を活用して、地域における重層的な支援体制を構築する

令和6年度事業内容

民生児童委員及び地域福祉推進チームとの連携	
民生児童委員地区定例会への参加、個別ケースの相談対応 地域福祉推進チームの強化(福祉見守りマップ作成の普及)	
地域密着型サービス事業所運営推進会議への出席	
・グループホームなごみの里鹿島 ・グループホームしあわせの里 ・グループホーム一青の家 ・第二鹿寿苑・グループホーム鹿寿苑	・認知症対応型デイサービスひまわり ・笑顔の友の会(6地域密着型サービス事業所合同) ・ぐるーぶほーむ・たきのーほーむ福の神、コールナウ福の神 (羽咋市)
まると福祉支援協議会(高齢者・障害者虐待防止ネットワーク)	
■全体会議 [R6開催回数:1回] 中能登町まると福祉支援協議会は、『中能登町地域福祉計画』の趣旨を踏まえ、誰もが住み慣れた地域で暮らせるよう、地域共生社会の実現に向け、あらゆる福祉に関する課題について、まると協議し、必要な施策を、総合的かつ計画的に実施を推進する。 開催日時:令和6年6月26日(行政サービス庁舎)	
■権利擁護部会 [R6開催回数:1回] 誰もが住み慣れた地域で、地域の人々と支えあいながら、尊厳をもってその人らしい生活を継続するために、認知症の人や障がいのある人に対する地域住民の理解や、相談体制の充実を図り、誰でもなんでも「丸ごと」支えあう仕組みづくりや、権利擁護支援の地域連携ネットワークを構築する。 開催日:令和7年3月21日(第1回) ※開催予定 内 容:R6年度活動の振り返り、R7活動について等についての意見交換等	
【権利擁護セミナー】 開催日:令和6年11月30日(ラピア鹿島) 内 容:任意後見制度、公正証書遺言、自筆証書遺言保管制度 講 師:七尾公証役場・太田孝治氏、金沢地方法務局七尾支局・若林敬洋氏 参加者:37名	
【その他活動】 ・権利擁護に関するパネル展示(R6.10福祉のつどい) ・広報なかのと:全体会議(R6.8)、成年後見制度(R6.9)、虐待啓発(R6.11)	
■生活支援部会 [R6開催回数:1回] 高齢者やその家族が、住み慣れた地域で自分らしく暮らすためには、適切な介護や福祉サービスの提供はもちろん、地域にある様々な社会資源を活用する必要があるため、公的サービスでは対応しきれない生活支援の仕組みづくりや、地域組織・商店との連携、当事者同士が相談できる体制づくりなどの推進を目指すことを目的に『生活支援部会』を実施する。 開催日:令和6年12月3日(「なかのと結び隊サポーター連絡会」合同会議／社会福祉協議会事務局で実施) 内 容:有償ボランティアはR5.3月プレ実施開始し、R6.3月本実施開始した。 活動の状況や事例報告を行った。また、グループワークを行い、活動の振り返りや「こんなことができるのではない か」と新しい活動の意見を出し合った。	
【その他活動】 ・生活支援コーディネーターパネル展示 & 寸劇DVD鑑賞(R6.10福祉のつどい) ・町広報なかのとで紹介(R7.2) ・社協広報誌にて活動報告(R7.3)	

○昨年度に引き続き、町民向けの権利擁護セミナーを開催した。今年度は「学びませんか？自分の思いの残し方」という見出しで、内容を遺言や任意後見制度にした結果、参加者が昨年度より約20名の増加となった。今後も、町民が興味関心を持つように内容等を工夫しながらセミナーを開催する。

(5)在宅医療・介護連携推進事業

地域の医療と介護の関係機関が連携し、在宅医療と介護が一体的に継続して提供できる体制を構築する

令和6年度事業内容

在宅医療・介護連携に関する相談支援	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値(R8)	・ケアマネジャー、医療機関などなどからの相談が多い ・支援内容としては、退院調整、医療機関と在宅医療・介護との調整など	
	相談件数	40件	57件	76件	75件		
	訪問件数	12件	23件	25件			
住民への普及啓発	○11月9日 映画「オレンジランブ」上映会及びミニ講座 （対象者）一般住民、関係機関など 約188名参加 ○町の出前講座 テーマ:「人生会議と震災」 6団体 〔 5/23ボランティア協議会 6/11末坂もみじ会 7/24花見月よらんかいね 8/13久江あそびし 11/19北部おたっしや会 2/11末坂「テーマ:健やかに暮らす」 〕						
医療・介護関係者の情報共有の支援	○急変時の情報連携 民生委員に協力をいただき、『緊急ファイル』の設置者約700名の地区別名簿の情報を更新した。 ○入退院時の情報連携 七尾市や関係機関と協働し、『なかのと入退院支援ハンドブック』を更新した。 ○日頃の情報連携 医療・介護資源マップ(第4版)を改訂、関係機関や町民に、地域の社会資源について周知した。						
多職種研修会・事例検討				令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値(R8)
あじさい会(中能登町在宅医療介護連携を考える会)研修会				3回	5回	4回	8回
■ 内容							
役員会(コアメンバー会議) 年2回							
在宅医療介護連携協議会 年1回							
講演会・研修会 年5回							
7月11日 研修会「長い糖尿病の経過からの認知症」							
9月26日 研修会「皮膚トラブルあれこれ～特定看護師から～」							
12月12日 研修会「在宅の方の防災訓練」							
2月15日 リーダー研修会「災害を通して地域連携を考える」							
3月13日(予定) 研修会「震災のとき、いま、これから 障がいのある方やひきこもりの方の暮らしを考える」							

○医療介護関係者や地域住民と震災の振り返りや今後の備えについて話し合いができた。また、研修会等の開催や住民への普及啓発活動を通じて、顔の見える関係性を構築することができた。

(6) 認知症施策の推進

事業内容			令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値 (R8)
事業名	内容	回数など				
認知症に関する講座	出前講座にて、認知症予防についての普及啓発を行う。	開催回数	4回	2回	3回	5回
		参加 実人数	61人	22人	54人	
認知症サポーター養成講座 ※認知症サポーター： 認知症を正しく理解し、 認知症の人や家族を温かく見守る応援者	認知症キャラバンメイトによる講座	開催回数	15回	13回	7回	8回
	・一般向け講座 ・出前講座 ・鹿西高校1年生 ・各小学校4年生(3校)	参加 実人数	369人	340人	231人	300人
	※認知症キャラバンメイト：認知症の普及啓発を行う者 ※認知症キャラバンメイト町内登録者：22人	認知症サポーター数	3,230人	3,570人	3,800人	4,470人
認知症サポーターステップアップ講座	認知症サポーターのスキルアップ及び情報交換、交流	開催回数	1回	1回	1回	1回
		参加 実人数	13人 (うち修了者13人)	9人 (うち修了者9人)	4人 (うち修了者1人)	
認知症初期集中支援チームによる支援	認知症の人及びその家族に対し、必要な初期支援を集中的に行い自立に向けた支援を行う。	開催回数	－	－	1回	2回
		検討 ケース	－	－	1	
認知症地域支援推進員	認知症カフェの運営、認知症相談支援、関係機関との連携を行う。 (推進員：高齢者支援センター、GH一青の家、社協居宅、鹿寿苑居宅、GHなごみの里、認知デイひまわり)	推進員数	5人	5人	7人	6人
認知症カフェ【R8目標値】 4か所	青空カフェ (運営：なかのと若年性認知症家族の会)	開催回数	9回	7回	8回	4か所
		参加 延人数	100人	94人	109人	
	カフェひととき (運営：グループホーム一青の家)	開催回数				
		参加 延人数	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催			
	ひだまりカフェ (運営：認知症対応型デイサービスひまわり)	開催回数				
		参加 延人数				
高齢者等安心ネットワーク事業 認知症等で行方不明になるおそれのある高齢者を事前登録し、行方不明時に情報を協力機関に発信し、可能な範囲で捜索に協力してもらい、出来るだけ早く発見し保護するたの仕組み。また、地域の高齢者のゆるやかな見守りも兼ねている。	事前 登録者	11人 (うち 新規登録2人)	15人 (うち 新規登録5人)	12人 (うち 新規登録2人)	15名	
	協力 機関	53か所	53か所	53か所	75か所	

○認知症サポーター、認知症地域支援推進員、認知症キャラバンメイト等と連携して、R6.9月に認知症の啓発イベント「なかのとオレンジフェスタ」をアル・プラザ鹿島で開催した。

○認知症初期集中支援チームによるチーム員会議をR7.2月に開催し、医師、看護師、保健師、介護福祉士等の多職種によるケース検討等を行った。

(7)生活支援体制整備

生活支援コーディネーターを社会福祉協議会・高齢者支援センターに各1名ずつ配置し、地域の高齢者の生活支援のニーズを把握し地域における支え合いの体制づくりを推進する

取り組み		令和6年度 事業内容			実施状況
地域の資源の見える化	社会福祉協議会ホームページ「高齢者お役立ち情報」を活用した情報提供と活用	・お役立ち情報の更新 ・社協広報誌にて周知(R7.3)			年1回
関係者のネットワーク	地域福祉推進チームの活動支援	福祉見守りマップを推進チームで作成し、地区の見守り体制のあり方や生活課題をメンバーで協議し共有する。 ※「福祉のつどい」「民生委員向け勉強会」などで告知する。 【見守りマップ作成支援】			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値(R8)
		13件	12件	12件 新規 2件 更新 10件	8件
	生活支援に関する協議会の設置・運営(中能登町まると福祉支援協議会生活支援部会)	「なかのと結び隊サポーター連絡会」と合同開催。有償ボランティアの活動状況や事例報告、活動の振返りや新しい活動の意見出しを行った。			1回 (12月)
サービスのマッチング	フードドライブ(集める) & パントリー(受け取る)	ひとり親世帯、在宅介護世帯、生活保護受給者、その他生活支援が必要な世帯への生活支援として、各家庭で不要となった食品を集め、必要な方へ配布する。 ・介護用品券配布 1回 (R7.3月) ・フードドライブ 3回 (R6.7月、10月、12月) ・フードパントリー 2回 (R6.8月、12月)			
		パントリー	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			2回開催	1回目 37世帯 2回目 55世帯	1回目 61世帯 2回目 91世帯
生活支援サービスの創出	「なかのと結びネット」の活用	災害時や生活困窮者への支援のために、食品や日用品等の寄付を迅速に呼びかけるためのネットワーク体制を整備する。			
			令和4年度	令和5年度	令和6年度
		会員数	48人	55人	49人
		個別案件	2件	2件	0件
	なかのと結び隊(有償ボランティア)の取り組み	地域の生活課題などの、ちょっとした困りごとを「有償ボランティア」を活用して解決を目指す。 ・安定したサポーターの確保 サロン連絡会等で告知/地域向け養成講座の実施			
		サポーター数	令和4年度	令和5年度	令和6年度
			9名	36名 1事業所	38名 1事業所
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値(R8)
		延10件	延137件	延176件	延200件
		・普及活動 ①家庭学習用のDVD教材の貸出 ②福祉のつどいでパネル展示、DVD教材鑑賞 ③町広報なかのとで紹介 ④社協広報誌を活用し実績報告			①随時 ②R6.10 ③R7.2 ④R7.3

○R5.3月からプレ実施開始した有償ボランティア「なかのと結び隊」がR6.3月から本格的に始動した。サポーターの登録人数や活動件数は伸びている状況である。全地区にサポーターが配置できるよう安定したサポーター確保に努める。
○ひきつづき地域福祉推進チームによる「福祉見守りマップの作成支援」を行い、平時からの見守りを災害時に役立てるよう支援を行う。

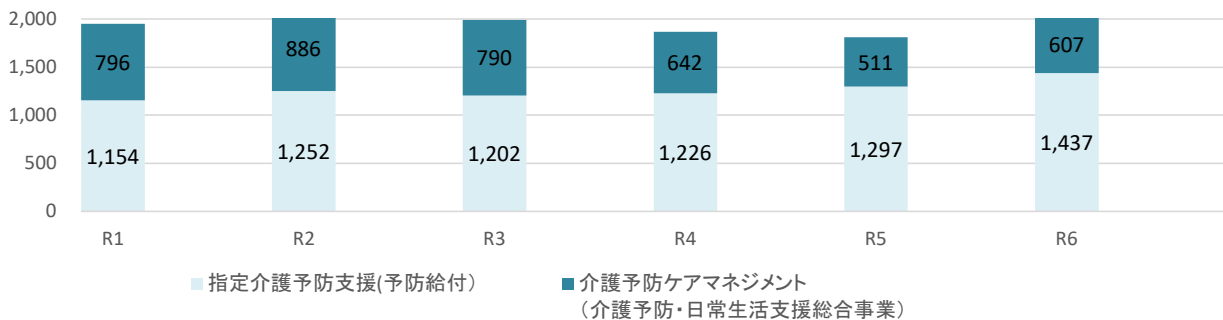
2. 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

高齢者の自立支援を目的として、心身の状況、その置かれている環境、その他の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき介護予防に向けたケアマネジメントを行う

(1) 給付件数(延べ件数)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	目標値 (R8)
指定介護予防支援(予防給付)	1,154	1,252	1,202	1,226	1,297	1,437	1,464
介護予防ケアマネジメント (介護予防・日常生活支援総合事業)	796	886	790	642	511	607	600

(グラフ) 年度別給付件数(件)



(2) 令和6年度月別給付件数(延べ件数)

① 指定介護予防支援(予防給付)

対象者: 要支援1・2と判定され、介護保険のサービスを利用している方。

事業所／利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域包括支援センター	18	19	18	22	19	19	19	19	25	25	31	-	234
(委託)居宅介護支援事業所	106	111	106	114	114	114	116	113	106	102	101	-	1,203
計	124	130	124	136	133	133	135	132	131	127	132	-	1,437

② 介護予防ケアマネジメント(介護予防・日常生活支援総合事業)

対象者: 要支援1・2、事業対象者と判定され、訪問型サービス・通所型サービスのみ利用している方。

事業所／利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域包括支援センター	8	8	7	6	8	6	6	6	9	10	9	-	83
(委託)居宅介護支援事業所	42	48	44	46	47	48	50	49	51	48	51	-	524
計	50	56	51	52	55	54	56	55	60	58	60	-	607

○保険者主催の「ケアプラン点検」に参加し、居宅介護支援事業所の介護支援専門員が作成したケアプランを検証し、資質向上のための支援を行った。

○介護予防支援等においては、R6能登半島地震以降、遠方に避難した方が、ひきつづき、避難先で介護予防サービスが利用できるように、金沢市、加賀市にある居宅介護支援事業所にケアプラン作成委託を行った。

3. 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 介護予防・生活支援サービス事業

地域の実情に応じて、住民等の多様な団体などが参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等の方に対する支援を行う

事業内容	令和4年度			令和5年度			令和6年度			目標値(R8)		
	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数
訪問型サービス												
1) 現行相当サービス	通年	—	274人	通年	—	181人	通年	—	197人	通年	—	300人
2) 訪問型サービスA(緩和した基準によるサービス)	—	—	—	通年	—	90人	通年	—	103人	通年	—	36人
通所型サービス												
1) 現行相当サービス	通年	—	989人	通年	—	914人	通年	—	1,024人	通年	—	1,200人
2) 通所型サービスC(短期集中予防サービス) ※集団支援 (事業名)あしこし元気アップ教室 (対象者)事業対象者、要支援1・2判定者 (実施内容)リハビリ職による体操支援	11回	4人	38人	26回 (13回 2クール)	17人	197人	26回 (13回 2クール)	12人	139人	通年	16人	
その他の生活支援サービス												
1) 訪問・通所一体型サービス(短期集中予防サービス)事業 (事業名)「スーパー元気アップ塾」 ※個別支援 (対象者)事業対象者、要支援1・2判定者のうち、一定の要件を満たす者 (実施内容)訪問支援(リハビリ職が自宅へ訪問)と通所支援(通所でのリハビリ職による個別体操支援)の組み合わせ	最大 6か月	10人	241人	最大 6か月	7人	191人	最大 6か月	5人	64人	最大 6か月	12人	

(2) 一般介護予防事業

住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、リハビリテーション専門職を活かした自立支援に資する取組を推進し、要介護状態になっても、生きがい・役割を持って生活できる地域を構築することにより、介護予防を推進する

事業内容	令和4年度		令和5年度		令和6年度		目標値(R8)	
	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数
介護予防普及啓発事業								
1) 介護予防に関する講座(出前講座など)	※開催頻度: 通年受付							
高齢者サロン及び老人会等を対象に、介護予防講座(運動機能低下予防、口腔機能低下予防など)を実施。	17回	255人	16回	183人	7回	80人	25回	
2) フレイル予防教室(高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施)	※開催頻度: 年3～4回シリーズ							
地域の通いの場を対象に運動や低栄養などフレイル予防に係る健康教育・健康相談を実施。	—	—	3か所 (12回)	92人	3か所 (13回)	110人		

事業内容	令和4年度			令和5年度			令和6年度			目標値(R8)		
	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数
地域介護予防活動支援事業												
1)地域つながりサロン(介護予防教室)【事業委託:町社会福祉協議会】※開催頻度:週1回～月1回												
地域のお世話役を中心に、参加者で話し合いながら住民主体の活動を目指し取り組んでいる。(運動、レクリエーション、手工芸、調理実習など)	35 か所	698人	7,215人	36 か所	697人	6,523人	34 か所	620人	6,520人	37 か所		
2)いきいき百歳体操※開催頻度:週1～2回												
高知市で開発された筋力アップ体操。DVDを見ながら手首、足首におもりをつけて体操を行っている。	25 か所	343人	10,782人	24 か所	335人	9,328人	23 か所	313人	9,000人	25 か所		
3)シルバーリハビリ体操教室(実施会場)各地区集会所など												
関節や筋肉の動きを良くすることを目的とした「いつでも、どこでも、一人でも」できる介護予防体操で、シルバーリハビリ体操3級指導士が体操指導を実施。	26 か所	—	968人	29 か所	—	1,155人	22 か所	—	1,057人	26 か所		
◎令和6年能登半島地震後、避難所にて体操実施。 (実施会場)老人福祉センターゆうゆう、カルチャーセンター飛翔	—	—	—	2か所	—	248人	—	—	—			
4)自主グループ活動				(実施期間) R6.1.10～3.9まで								
①和楽家 介護予防サポーター養成講座修了者が介護予防の自主活動を行っている。(月2回開催)	19回	15人	177人	19回	16人	170人	17回	10人	136人			
②中能登町健康友の会 NPO法人たすけ愛が行っている介護予防自主活動グループ。体操教室・脳トレ教室・カフェを行っている。(月3回開催)	35回	33人	949人	33回	34人	950人	30回	30人	660人			
地域リハビリテーション活動支援事業												
1)シルバーリハビリ体操3級指導士養成講習会												
高齢者の介護予防と地域での互助力を高めることを目指し、介護予防体操「シルバーリハビリ体操」を普及するボランティア「シルバーリハビリ体操指導士」を養成する。	開催回数	開催なし		1クール(全8回)		開催なし						
	養成者数	—		6人		—						
	養成者累計	54人		60人		60人						
	活動者数	38人		41人		41人						
2)シルバーリハビリ体操3級指導士の活動支援												
全体連絡会や代表連絡会を開催し、各グループの活動について情報共有する。また、研修会を通して体操指導の質を高める。	・全体会・代表連絡会4回 ・活動支援(随時)		・代表連絡会3回 ・活動支援(随時)		・全体会・代表連絡会4回 ・通いの場運営支援3回 ・活動支援(随時)		・全体連絡会3回 ・活動支援(随時)					
3)いきいき百歳体操リハビリ支援												
いきいき百歳体操教室へのリハビリ専門職による体操支援	9回		—		15回		25回					

○地域つながりサロンやいきいき百歳体操など地域の通いの場では、お世話人の引継ぎ者がいない、新たな参加者がいないなど活動継続が困難となるグループがあるなど、開催か所数の減少がみられる。そんな中、住民の主體的な介護予防活動が継続されるよう活動支援を行った。
○シルバーリハビリ体操3級指導士は、ひきつづき地域の通いの場で体操普及活動を行った。また、通いの場の運営支援として各グループで研修会を行い、体操指導方法の再確認や教室運営方法について学びスキルアップを図った。

4. 任意事業（地域包括支援センターの取組み）

高齢者が要介護状態、要支援状態となることを予防する、または、これ以上悪化することを防止する

（1）家族介護者支援

事業内容	令和4年度		令和5年度		令和6年度		目標値(R8)	
	参加 延人数	開催 回数	参加 延人数	開催 回数	参加 延人数	開催 回数	参加 延人数	開催 回数
家族支援事業								
①家族介護者教室・交流会 介護者が日頃の介護から一時的に離れ、心身のリフレッシュを図るとともに、介護者同士の交流を深める。また、介護の知識を学ぶことにより、今後も在宅介護が継続できるように支援する。	40人	6回	48人	5回	51人	5回	※R6年度から ①②は合同開催	6回
②男性介護者交流会 ・男性の料理教室 ・介護者同士の情報交換	5人		5人					

5. その他

（1）地域看護学実習の受け入れ

- ・石川県立看護大学 令和6年能登半島地震のため実習中止（大学側より申出）
- ・七尾看護専門学校 10名

（2）地域密着型介護保険施設における運営指導 3事業所（GH－青の家、GHLあわせの里、鹿寿苑居宅）

（3）ひきこもり支援における支援者会議への参加 第1回：10月7日

6. 中能登町地域包括支援センターについて

日常生活圏域：1圏域

設置：直営1か所

名称：中能登町高齢者支援センター

職員配置：

保健師	3名
社会福祉士	2名
主任介護支援専門員	2名
介護支援専門員	1名（会計年度任用職員）